

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要			
事業開始年度	昭和26年		
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	02 健やかで生き生きしたまちづくり
	小項目	施策	05 結核・じん肺
事務事業名	01	結核予防事業	
根拠法令・例規等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律などの一部を改正する法律		
問	担当課(室)	保健課	
合	職・氏名	健康係長・春名美郎	
先	電話	64-1820	
このシート作成に要した時間	3.0 時間		

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	備前市在住で、職場や学校で受診する機会のない15歳以上の市民。
目的(何のために)	昭和26年に制定された結核予防法に基づいて検診を実施していたが、平成19年4月に結核予防法が廃止され、6月からは改正感染症第五十三条に基づいて、結核感染者の早期発見と感染予防に努める。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	結核を早期発見し、早期治療に結びつけることで重症化を防ぐと共に感染を予防する。

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	結核予防事業	備前市各地区(93会場)をレントゲン撮影台搭載車で巡回し、胸部間接撮影を実施する。	

決算額	事業費等		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
	事業費	直接事業費	千円	4,961	4,487	4,159
	必要人員費	人員費	千円	0.08人	0.03人	0.02人
	事業費計			5,468	4,678	4,293
財源	国	支出金	千円			
	受	益者負担				
	繰	入金				
	市	債				
	その他()					
	一般財源		5,468	4,678	4,293	
	受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	
結果指標	結果指標量	人	5,928	5,365	4,856	
	対前年比	%	-	90.5%	90.5%	
	活動コスト	円	5,468,000	4,678,000	4,293,000	
	単位当たりコスト		922	872	884	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果						
結核検診受診率	成果指標名	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値
		目標値(A)	50	50	50	50
		実績値(B)	34.6	31.3	28.7	到達目標値
	達成率(B/A)		69.20%	62.60%	57.40%	50
成果指標設定の考え方・式や説明						
受診率 = 受診数 / 対象者数 平成21年度34.6% (5928人/17169人) 平成22年度31.3% (5365人/17133人) 平成23年度28.7% (4856人/16904人)						

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B
	必要性	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C
	目的達成度	市民参画度	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C

事業の目的やその数値目標に留意しながら

進行年度(H24年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	ナイター検診、休日検診を引き続き実施し、受診しやすい体制整備を図り、受診率向上に努める。 乳幼児健診で保護者へ結核検診受診勧奨を積極的にに行い、若年者の受診率向上を目指す。 結核発病のリスクの高い高齢者と接する機会が多い包括支援センター職員に協力を求め、高齢者へ結核検診受診勧奨を行ってもらう。						

総合評価	
結核は過去の病氣と捉えられがちであるが、市の検診においても少数ではあるが新たに結核患者が発見されている。結核予防のため、定期的な胸部レントゲン検診受診と乳幼児期のBCG接種の必要性を普及啓発していくことが重要である。効率的な検診実施の流れや受付時間を調整するとともに、愛育委員会や栄養委員会、乳幼児健診などあらゆる機会を活用して検診受診を呼びかけ、受診率向上を目指した努力をする必要がある。	総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C

平成25年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	市役所内の市民と関わる部署と連携して検診のPRを行うとともに、愛育委員、栄養委員の受診勧奨の活動が強化されるよう支援し、検診受診率の向上を図る。						

Action